

年 組 名前:



耕作放棄地で栽培したタケノコを売店で販売する七覚たけのこ組合の組合員 甲府市右左口町

右左口町・七覚地区住民

タケノコで地域元気に

甲府市右左口町の七覚地区の住民でつくる「七覚たけのこ組合」は、地区内の耕作放棄地を活用してタケノコ栽培に取り組んでいる。この組合は、地区内の耕作放棄地を活用してタケノコ栽培に取り組んでいる。この組合は、地区内の耕作放棄地を活用してタケノコ栽培に取り組んでいる。

放棄地活用 売店で交流



山本 清水 昂輝 方善

が、静岡県内でタケノコ栽培を視察したことをきっかけに、協議会メンバーが中心となり2019年9月に組合を設立。山間部の耕作放棄地約30アールでモウソウタケを栽培している。現在14人が所属し、肥料を与えたり、電気柵で囲ったりするなどして毎年最盛期の4月

ごろに収穫している。昨年、地区内に売店を設けて試行的にタケノコの販売を開始。今年から本格的な販売をスタートし、組合員が製作した看板やのぼり旗を国道358号沿いや売店周辺に設けてPRした。朝収穫したタケノコを当日販売し、多い時には40〜50本が店頭で並んだという。売店では七覚いきいきサロンのメンバーもボランティアで店番を担った。今季の営業は終了したが、来年も販売する予定。タケノコの収穫期に合わせて祭りを開催したり、加工品を販売したりすることも検討している。組合の柿嶋敦代表は「売店をサロンのように住民が集う場所にした。地域づくりを盛り上げるため、継続した活動にしていきたい」と話している。

〈雨宮丈貴〉

(2025年5月8日付 山梨日日新聞15面)

問1 甲府市右左口町の「七覚たけのこ組合」は、なにを活用してタケノコ栽培に取り組んでいますか。

.....

問2 栽培しているタケノコの種類を教えてください。

.....

問3 組合は、来年のタケノコ販売以外に、なにを行うことを検討していますか。

.....